

SHARP

シャープ社友会

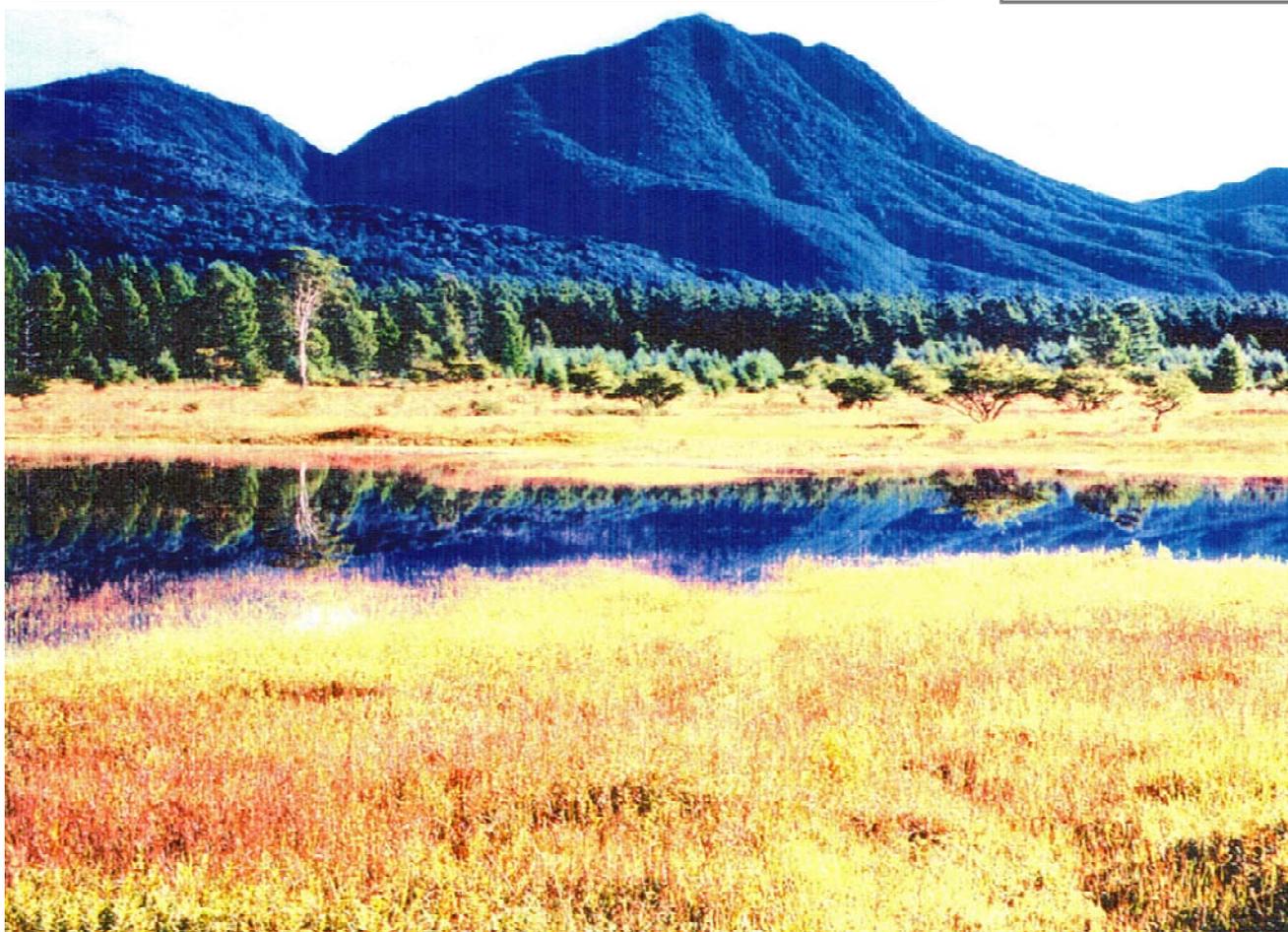
栃木支部
第21号

日光

栃木

発行責任者
岩村 博

タイトル： 紺碧の空に、燦々と輝く日の光、緑豊かな大地。
自然に恵まれた栃木をシンボルしますと共に世界遺産に登録された当地を代表する観光名所でもある「日光」を表します。
カラーコンセプト：空の青、日光の赤、栃木の緑を配し、カラーテレビの信号の R・G・B をイメージし、AVシステム事業本部のルーツを象徴しています。又、緑は社友会のシンボルカラーでもあります。



小田代ヶ原

奥日光・小田代ヶ原に見せた湖。昨年秋、台風9号の影響で3年ぶりに現れた『小田代湖』と呼ばれる湖。激しい大雨で雨水が浸透しきれなくなると、水が低地に溜り出来た湖です。

左前方に貴婦人で有名な白樺が見えます。又、高地のため9月末から草紅葉が始まりました。

撮影：田代宏明（会員番号3061）

新年あけまして

おめでとーいぎこます



栃木支部長

岩村博

新年あけましておめでとーいございます。会員の皆さん如何お過ごしでしたか、いつまでも充実した日々でありますようお願いいたします。

総会後、役員・幹事等の新体制を確立し、みなさんのご協力により『シャープグリーンクラブ(SGC)の活動』『サマーフェスティバル』『チャリティーバザー』の活動、『秋の懇親旅行(バスツアー)』等々の行事が実施できました。

今年度の行事で『秋の懇親旅行』『新春年賀会』『社友会栃木支部精進周年記念』の取り組みについては、安東・村上剛支部長と幹事で構成する推進委員会を立ち上げ、推進委員会で実施に向けた具体的検討をお願いしています。

七月二十八日(土曜日)恒例のシャープサマーフェスティバルが開催されました。この催しも回を重ねて十九回を数える事になりました。

社友会は、みなさんのご協力により今年も愛のチャリティーバザーの出店ができました。

・チャリティーバザー売り上げ

二万九千四百十円

・チャリティーカンパ金

四万五千六百七十二円

・合計金額

七万五千八十三円

チャリティーバザーの売上金及びチャリティーカンパ金は、矢板市社会福祉協議会へ寄付致しました。

このサマーフェスティバルには多くの会員・ご家族のご来場があり、会場で顔を合わせお話ができました。

昨年は参加者が少なく実施できなかった『秋の懇親旅行』『バスツアー』を今年度は実施する事ができました。

副支部長と幹事の推進委員で計画の具体的検討を行い、十月三十日(火曜日)会津街道紅葉と菊人形・鶴ヶ城と温泉入浴付グルメで実施、三十三名の参加者を得ました。

参加者の中には久しぶりに顔を合わせることが出来楽しく会話を交わす人・近況の意見交換をする人、等々懇親を深める事ができました。

日頃会える機会の少なかつた仲間との再会があり、実施できてよかつたと感じました。

前年度から実施されている社友会本部の年賀会の模

様を衛星同時中継で、今年度は『一月二十二日』に支部に向けて行われます。

栃木支部の新春年賀会は推進委員会で具体的検討を行っています。

本部・支部の新春年賀会にみなさんの参加をお願いします。

次年度は社友会栃木支部二十周年を迎えます。二十周年記念行事についても、推進委員会で具体的検討を進めていきます。

支部会報『日光』の記念号についても検討していきます。

私は社友会のみなさんが楽しく過す日々になれば良いと思っております。

今後も社友会の運営に会員みなさんのご協力をお願いします。

申し上げます。



二〇〇八年を迎えて

取締役
AVシステム事業本部長
寺川 雅 嗣



新年明けましておめでとーうございま

シャープ社友会栃木支部の皆様方には、輝かしい新春を、お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃は、シャープ製品のご愛用や当社社員に対するご指導・ご鞭撻等、大変お世話になり会社を代表し厚くお礼申し上げます。

昨年の日本経済は、全体としては堅調に回復し、低い成長率ながらも息の長い回復を背景に設備投資が拡大し、個人消費も堅調に推移するなど、民間需要を中

心に着実な回復が進みました。しかしながら、原油価格の高騰やサブプライムローン問題による米国経済の先行き、金利引き上げへの懸念、更には年金・保険料の負担増による個人消費への影響など、景気減速に対する不安要因を多々抱え、先行きは予断を許さない状況にあります。

この様な経済環境の中、ご承知のように、シャープでは、2007年3月の決算発表で売上高3兆円を達成、堺新工場「二十一世紀コンビナート」計画を発表し、液晶やソーラーといったコアコンピタンス事業の拡大を目指し、取り組んでおります。また、2012年には『創業100周年』を迎えるにあたり5カ年計画を策定し新たな挑戦をスタートしました。

世界へ飛躍する「アコス」

AVシステム事業本部では、「世界5極生産体制」の構築により、売上高1兆円を目前に控え、グローバルシェア10%獲得に向けて着々と体制を整えており

ます。昨年7月には、ポーランドのSMPLと、メキシコのSEMEX第2工場でモジュールから液晶テレビまでの一貫生産が始まり、日本・中国・マレーシアを含めた世界5極体制が本格的に始動しました。今年は更なる飛躍にむけて、『AQUOS』を核に『ブルーレイディスクプレーヤー』を第二の柱に育てる大切な年となります。

AV事業の更なる拡充と強化に向け、全従業員が一丸となって、先輩諸兄の築き育ててこられたAVシステム事業本部を世界のシャープに相応しい事業体として邁進してまいる所存でございます。

社友会の皆様方におかれましては、従前にも増して液晶テレビ『AQUOS』やBD・DVDレコーダー等の周辺機器に対するご愛顧とご支援、ご指導をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

シャープ社友会栃木支部の今後益々のご発展と、会員皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春のご挨拶

シャープ労働組合栃木支部

執行委員長

印南幸裕



新年あけましておめでとうございます。
社友会栃木支部の皆様方には希望に溢れた新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃は、岩村支部長をはじめ多くの皆様に労働組合の活動に対しまして、ご理解とご協力を頂いている事に心より感謝申し上げます。

栃木支部としては、カラーテレビの生産工場として昭和四十三年（一九六八年）に田辺工場から移転して以来四十年を迎えようとしています。この間、カラーテレビの隆盛期やVTRの隆盛期の大きな好景気の山がある一方で、オイルショックやドルショック、消費税導入による買い控え、カラーテレビのダンピング問題さらには、プラザ合意による急激な円高、そうしてブラウン管テレビの海外生産移転が急速に進みました。

その結果、国内生産の空洞化が大きくなり、営業部門への転勤をはじめ液晶関連部門への転勤、外部委託業務の見直しなど合理化提案が相次ぎました。

しかしながら諸先輩のご努力と英知の結集で難局を乗り越え、雇用の確保と生活の維持向上が図られてきています。また、このところの国内経済はバブル崩壊後の長期の国内不況から脱し、現在では景気を取り戻してきています。このような中で、矢板工場では環境に対する意識の高まりや高画質・高品質、総合的な単価ダウンなどから、ブランドイメージが高くなった液晶テレビ「アクオス」が順調な生産の拡大を続けています。今年度は、世界九百万万台生産に向け生産ラインの改善や、より高品質に向けた対応などに取り組んでいるところです。

また、昨年四月に行われました矢板市議会議員選挙におきまして、中村久信栃木支部副委員長が二期目の挑戦をいたしました。社友会皆様の絶大なご支援を頂き、すばらしい成績で当選を果たすことが出来ました。本当にありがとうございます。

シャープ社友会栃木支部の益々の発展と会員皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。

矢板市議会議員

中村 ひとのぶ

新年明けましておめでとうございます。

社友会の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年は二期目という難しい選挙でありましたが、上位で当選する事が出来、心新たに正月を迎えることができました。皆様方のご支援に心より御礼申し上げます。

市議会では今回の選挙から定数を六名削減し、新人三名を含む十六名で新たな活動を開始いたしました。常任委員会は従来の三委員会から二委員会に編成し直し、私は総務文教常任委員会委員長に就任いたしました。また、九月定例議会の一般質問では学童保育を取り上げ、新たに土曜日の開設と午後七時までの開設時間の拡大を図ることが出来ました。

現在の矢板市には、小学校の統廃合や行財政など多くの課題があります。今後も皆様の代表として、皆様が築いてこられましたシャープの名を汚すことの無い様、また、名に恥じない活動を肝に銘じ、皆様のご期待に応えるべく『夢と笑顔のあるまちづくり』に向け全力投球してまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



福祉サービスに携わって

佐藤龍雄

月日の経つのは早いもので、先輩・同輩・仲間、それに妻に感謝しながら卒業してから、ほぼ二年になります。間際まで仕事から離れられなかった私に、「暇すぎて、体を壊すなよ」と声を掛けられたことも多く、正直、自分でも気になっていた時期もありました。しかし、一昨年（平成十八年）十一月、訪問介護サービス事業所の管理者として携わるようになってから、その心配はなくなりました。

最初は、出社が「週三日、午後の三時間のみ」ということだったのでボランティアのつもりで軽く引き受けたのですが、実際は、午前出勤、休日出勤などもあり週四〜五日出ることも多くなっています。私には間



題ない範疇ですが、妻には多少不満のようです。

さて、シャープ時代とは無縁のこの仕事に就いたのは、自分の多少の思いとちよっとした偶然によるものです。でもシャープの経験は大いに役立っています。ここ矢板には、昭和四十三年の工場展開時の二年と二十年前の一年半、計三年半しか住んでいませんが、これから五年以上はこの地にお世話になること

だろうと思っています。

そこで、「何か地域に貢献できることを探さなければ」と思うようになっていた頃、ハローワークが紹介する福祉サービス講習を受ける機会に恵まれ、ヘルパ上級の資格を取得することができました。

しかも、その講習の担当グループが新しく介護サービスの事業所を開設することになり、管理者を引き受けることになったのです。管理者は、介護の実務に直接関わることは少ないのですが、利用者のお世話をすることが結構あります。

介護をする側の世界では、女性の優しさ、頑張り、技術（身体介助・調理・生活支援）が光ります。

管理者は、利用者やご家族の相談にのったり、苦情にお付き合いしたり、役所への報告や仲介役などのお世話をします。これらの対応をする時に、「相手の立場で考える姿勢」「苦情を聞き改善に取り組む姿勢」「お役所との真摯な付き合い方」といったシャープ時代に経験し、培ってきたことが大いに役立っています。

シャープ時代の諸先輩からの教えの積み重ねが、このような有形無形の力として身につけていたのでしょうか。シャープに勤められたことに、あらためて、感謝したいと思います。

また、母を中学二年の時、父は私がドイツ勤務時代に亡くし、結局、親の世話をする機会に恵まれなかった私ですが、今回高齢者のお世話をしていると、時々、そこに父や母の面影を見る時があり、親孝行の

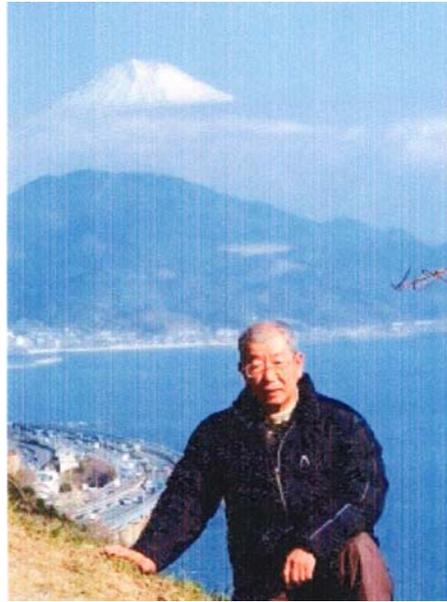
真似事をしているような感覚を持つことがあります。全く予想だにしていなかったことですが、思わぬプレゼントをもらった気がしています。できれば、今後とも、身近なコミュニティで福祉に励めたらと思う次第です。



最後列左より二人目が筆者

アメリカ駐在あれこれ

飯野一男



雑感を述べてみたいと思う。

尚、今日の米国は当時の様子と異なっている点多々あると思うが、あくまでも駐在当時での出来事であり、この点を「了承の上で」ご紹介しよう。

* アメリカ赴任後のカルチャー・ショック (昼間に経験したことの無い生活レベルにショック)

東京オリンピックが開催されるまでの7年間東京支社のサービス部TVの外勤サービスに勤務していた関係で、東京・首都圏に駐留していた米軍基地である横田空軍基地(現在でも基地として存在している)、立川陸軍基地(今は公園となっている)のPXや、原宿にあったワシントンハイツ(現在NHKがある)、板橋区にあった板橋ハイツなどの軍属の家族住宅地に週一回程度の割合でTVの修理に行つて、当時の日本人の生活レベルとあまりにも大きな違いがあることは解つていたが、これは軍の施設であり当時のアメリカのホームドラマをTV放送(腕白デニスなどの番組)映画で見る生活などは、総てセット風景であると思つていた。例えば基地内にあるPXは、現在のイオン・ショッピングセンターと同様の規模で多くの商品があつたし、生鮮食料・肉類は毎日米国より空輸されていて、ハイツはゲートを入れば芝のある大きな家で前庭や蒸気による暖房のある家々が連なり別世界の世界のようであつた。ところがNJ州のカールスタッド市の新興住宅地に居住してみると、総てが米軍の基地内のPXと同様なショッピングセンターに至る所に点在しており、商品アイテムは驚くほど多くて安く、又、立ち並ぶ家々はハイツ並であり、道路は片側2〜3車線は当たり前で

アメリカ製大型乗用車(当然ではあるが)が猛烈なスピードで走つていたのには驚とショックを受けた。

* 運転免許証の取得(交通ルールの勉強)

さて、赴任し最初の難関は米語による現地人との会話が問題もさることながら、米国では(つまりNY市内以外の生活地を選択すれば)自動車と運転免許証が無ければ生活が出来ないことを知り、取りあえず一日も早く日本発行の国際免許証(東京オリンピックを機に国際免許の発行がされるようになった)を米国の運転免許証に切り替えに運転免許事務所に伺いたが、日本は国際免許加盟していないので(??)との話で、米国運転免許の発行は出来ない、と何と情けない返事であつた。(日本には自動車があるのかといった感じの超発展途上国並みの屈辱的な扱いであつた)

やむを得ず交通ルールのルールブックを運転免許試験事務所より入手し勉強を始めたが、ルールブックに書かれている米語と小生が勉強した英語との違いがあることを知つた。

例えば、車両は「VEHICLES」と書かれているが、私が習つた単語は「CAR」か「AUTOMOBILE」であり、又、信号機の黄色は「AMBER」と書かれており英和辞書では「琥珀色」となっていて、貧乏育ちの小生は琥珀など見たことも無く、又琥珀色はどんな色かイメージすら浮かばなかつたが、米国の交通ルールブックを熟読し筆記試験を受けることにした。

* 筆記試験

当時、NJ州の運転免許取得試験は、10分間程度の交通ルールに関する筆記試験と運転の実技試験が課せられていた。この筆記試験は英日辞書を引くことは許されていたが、総て米語のみの試験であり(現在はスペイン語とか日本語とかで実施されているようだ)が、辞書を引きながら1時間掛かってやっと半分程度の答え(正解かどうかは別として)を仕上げた。さすが試験官もあきれ返つたか、真剣に試験に取り組んで

* アメリカ駐在雑感

今ではシャープ(株)社員・定年者を含め海外駐在を経験された方々は、2〜3千人はおられると思う。海外勤務は何も目新しいことではないのだが、小生の初めての海外駐在は東京オリンピック(1964年)の終わったあくる年の2月に、アメリカニュージャージー州(NJ)にあるSEC社本社に赴任し、それまで小生が経験したことのない生活レベルと、日本とあまりにも大きな違いにカルチャー・ショックを受けた5・5年であつた。

その後1985年〜1996年までの11年間は(6ヶ月ほど大阪勤務があつたが)フィリップピン(SPC社)、インドの勤務(KSIL社)の発展途上国勤務の海外勤務となり、ここでも日本の生活・習慣の違いにカルチャー・ショックを受けたが、40年前のアメリカ駐在(1965〜70年)時代の当時について

いる小生に心を動かされたのか良く解らないが、未回答答案用紙を取り上げて採点に100点満点としてくれ無事筆記試験は合格としてくれた。(このあたりは大雑把なアメリカ人ならは!!!)

* 運転実技試験

次は運転実技試験で7年以上も自動車を運転している小生にとっては左ハンドル・右側車両通行など問題無くこなせたが、最後に「PARK」といわれ、「STOP (停止) とPARK (駐車)」の違いが解らないために「STOP」したままでじっとしていたら、試験窓は車を道路端に止めて「サイドブレーキを掛け」て「エンジンを切る」様にとジェスチャーで教えてくれたのでその通りにしたら、おかげで実技試験も合格晴れて運転免許証を取得した。(うれしかった!)

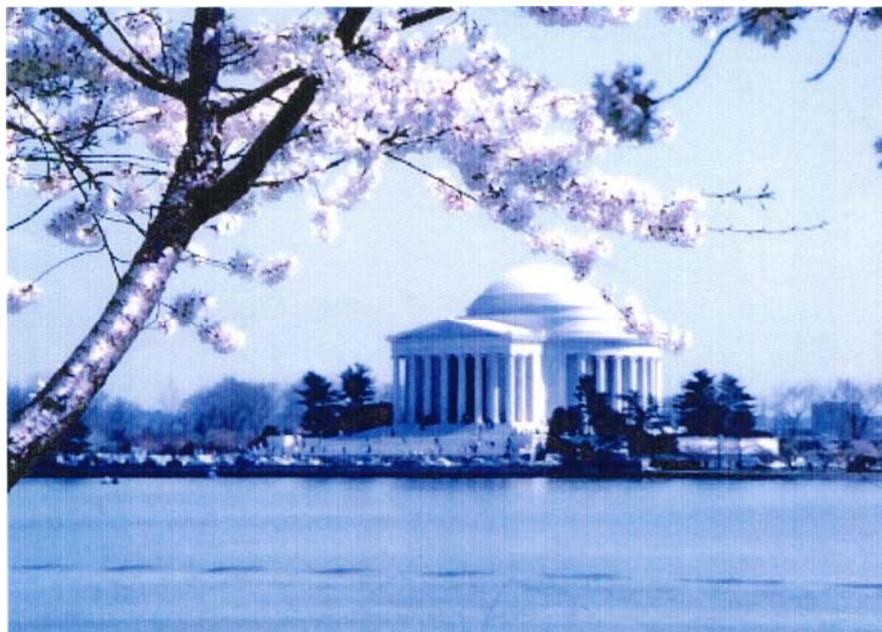
* 2つのスピード違反

ワシントンの桜を見るべく(有吉佐和子の小説「非色」)に出てくる日本の桜とは一味違ったワシントンの桜。写真を見に)ワシントンに向けてNJ州の高速道路を猛スピードで走行していたらスピード違反でパトカーに捕まってしまい、後日罰金を払うことで免許証も返された。ワシントンに向い違反をしないようにゆっくりとしたスピードで追い越し車線を走っていたら、再度スピード違反でパトカーに捕まってしまった。今度は低速違反によるものであったが、警官(ハイウエーパトロール)は違反内容の説明途中で免許証を取り上げたまま突然走り去ってしまったので、途方に暮れ次の高速料金所出口で事情を説明した結果、その警官は緊急の用件で急いでいたとの連絡を受けているので、運転免許証は次の料金所出口に取りに行くよとの事で、その通り次の料金所出口で運転免許証を受け取り罰金も払わずに済み再度ワシントンに向けて出発をした。

ここで解ったことは、高速道路ではスピード・オーパー違反とスロー・スピード違反(40マイル以下の

スピードでは)の二つの違反があることを知った。

さて昨今の日本の道路でも我こそはスピード・オーパー違反は絶対に「してないぞ」といった調子でのんびりと走っている運転手も多くなり、スロー・スピード車の後続車となったらイライラすることしきり(黄色線のところで追い越しでもして違反とならないよう



に 注意、注意!!!!)

* ボーイスカウトのサバイバル訓練に驚き

やっと1年を経過した頃に、小生が居た下宿先の住人本人であるルームメイトは「日系アメリカ人のケイ」が2年間の徴兵兵役訓練を終了して帰ってきた。ケイはNY市ボーイスカウトの団長で、よく10人

ほどのボーイスカウトの子供達を連れて訓練のために2~3時間掛けて山とか海に連れていったが(小生は運転手として参加)、米国のボーイスカウトではサバイバル(生きる)を徹底的に訓練するのが基本で、野営もさることながら、縄の縛り方、ナイフの使い方、魚釣りの仕方、山道を歩くときの後続者への目印の付け方、磁石と地図を使って無事に帰還すること等に加えて、西洋弓矢を使った狩や、ライフル銃(22口径だが)に実弾をこめて野ウサギ、七面鳥、野生鶏などの狩猟訓練・実践することには驚いた。

もつとも22口径のライフル銃では10~15m離れた距離では野生鶏などに実弾が当たっても、精々飛び上がった逃げてしまいが、4~5mの至近距離では殺傷能力は十分にあるのでとても危険である。

* 銃社会の米国を知る

この様に銃の使い方などの一連の訓練は西部開拓時代そのまま、米国憲法で保障され自衛のための銃・ピストルの保有は許されていることには驚いたし、銃や、ピストルがスーパーマーケットで販売されてライフル銃の所有は自由であり、ピストルは犯罪者以外の米国人であれば地方の警察に届けばピストル所有も出来るし、最低で一家に玄関、台所にそれぞれ一丁ずつピストルがあるなど聞いて驚いた次第(もつともフリッピングでは自動車の中に2丁のピストルは置いてある)また、町には必ずあるといわれるガンショップで夫婦そろって実弾射撃練習をしている姿を見ると、何時どの様なことが起きるかまったく予測不可能であるとも思った。

尚、先輩方々からの申し渡し事項として(小生も会社の帰りに経験したが)、警官に呼び止められたらとにかく両手を頭の上上げるようにいわれたが、ポケットに手を入れたらまず射殺されるので絶対にしないことが重要な暗黙の生活ルールであり、何と危険な社会であると痛感した次第。同時に自分や家族は自ら自衛するものであることを改めて認識した。(以下 次号)

秋の懇親旅行

安東郁哉

秋も深まり社友会恒例の懇親旅行を去る十月三十日に実施いたしました。

コースは会津西街道沿道の紅葉と、会津若松・鶴ヶ城更に磐梯熱海温泉で昼食後、バスで萎縮した足腰の疲れを入浴でほぐし、一路磐越道から東北自動車道を北上して、二本松で開催中の菊人形展を鑑賞するコースを企画しました。

例年一泊旅行でしたが、昨年からは日帰り旅行を企画はしたものの参加者が少なく不発に終わり、今年度は幹事を加えたチームを組み、行き先を検討してきました。お陰で幹事さんが熱心に会員の方達を勧誘していただいた結果、三十三名の参加を見ることが出来ました。参加者の中には集合場所に電車を利用され矢板駅着のダイヤの都合で、一番電車に乗り三十分も前に集合された方もあり、早くから来られた方には申し訳なく御詫び致します。次回からは出発時間の調整と検討が課題として残った気が致します。

早朝七時に体育館前を出発して、塩原温泉街を抜け尾頭峠を過ぎる頃より紅葉が見られるようになりましたが、今年は夏場の天候が猛暑で長かったせいも、もう一つ紅色に山が燃えているような鮮やかさが見られず、「田島道の駅」付近の山が唯一燃えているような景観を味わうことが出来ませんでした。

車内ではこの辺りからアルコールも入りポチポチ賑やかに成り始めてきました。

当初は予定には入れていなかったのですが少し時間がある事から塔のへつりに立ち寄りしました。

平日早朝の為か、あまり混雑はしていません。又来ている人々はやはり我々同様のシニアたちの集団が大半でした。更に車を進め「鶴ヶ城」に到着、天守

閣をバックに集合写真を撮った後は夫々閣内に入りましたが、十六歳〜十九歳で命を落とした白虎隊のメンバーの似顔絵を見ると少しジーンと胸にくるものを覚えました。落城時の城内には、武士とその家族が四千人も籠城していたと聞きましたが、残念ながら期間までは聞き出すことが出来ませんでした。

また城内には現在経済成長著しい時の国家、中国観光団が此処にも沢山来ていました。

城を後に一路昼食と温泉の待つ磐梯熱海温泉のホテル「向瀧」に直行、昼食は秋の旬の物と期待を持ったのですが、出てきた物は旬の物に間違いなく、上手に



スライスされた

マツタケの入った炊き込みご飯

が目玉でした。

それ以上のものを望むのは虫が

良すぎた様です。

やはり値段と相談でした。食後は大半の方が入浴を楽しみました

事と思います。

午後二時にホテル「向瀧」を出発して一路二本

松の菊人形展に向かいました。

この会場は日本でも有数の菊人

形の会場でもあり今年にはNHK大河ドラマの『風林火山』をテーマに武将の菊人形が数多く展示されています。

筆者も五年ばかり趣味で大輪の三本仕立て・ダルマ仕立て・福助仕立てをやってみましたが、十一月中旬花が終われば来年の『挿し芽』の為の準備に取り掛かります。

会場に展示されている懸崖・千本咲き等を育てるには、一本の幹から千輪以上咲かすのは、使用する土と高度な技術、更に高さ・方向・形状等を揃える為のテクニックは想像を絶する時間と手間を掛けて完成した物です。会員の中には小菊を購入された方も居ましたが小菊も鉢植えにして花を楽しめば、あまり手が掛からなく育てやすいと思います。

少し脱線致しましたが会場周辺の紅葉は少し後れているようで里まで紅葉前線が降りてくるには、もう暫らく後になりそうです。

会場には武将の菊人形やギネスブックに掲載されるような千輪咲や懸崖を觀賞した後、三時四十分に会場を後に致しました。途中お土産店に立ち寄り、家族やお孫さんのお土産、更には中には証拠物件として買われた方もいるかも・・・？

バスも東北自動車道に入った頃には、窓の外も薄暗くなり本来ならば帰路は疲れてお休み時間ですが、バスのガイドさんが少し変わったVTRの再生を始めてくれました。最初は何気なく見ていた私も惹きつけられて、眠気が吹っ飛びました。車内を見回すと結構眠らないで見ている方も沢山いました。

どのような物か少し紹介しようと南蔵院第二十三世住職『林 覚乗氏』の『おかげさま』と言う法話のVTRで林住職が全国を講演された中の、三巻ある内の一巻でした。実話と体験を交えた巧みな話術は興味を持たされて引き込まれたような気が致しました。

その内に矢板に無事到着し「お疲れさま」と声を掛け合いながら解散いたしました。

企業市民としての社会貢献活動

◇◇地域に密着した活動を展開する

「シャープグリーンクラブ (SGC)」◇◇

シャープグリーンクラブ (SGC) は、環境ボランティア活動を中心に、さまざまな社会貢献活動を労使共同で企画・運営する組織として、二〇〇三年六月に発足しました。

従業員自らが汗を流して活動することで、環境意識とボランティアマインドの高揚を図りながら、地域社会へ貢献することを目的としています。

栃木事業所では、二〇〇四年四月より本格的に活動をスタートし、活動が定着した二〇〇六年度は五、四十五名 (従業員は四、六三一名) と、多くの皆さんに参加いただきました。今後につくましてもシャープの森 (植林・育林) 活動を中心に活動を実施していきます。

■SGC「シャープの森」づくり



シャープの森 植林活動

SGC 活動の中で、特に力を入れている取組みが「シャープの森」づくりです。当社の事業拠点や営業拠点の所在地を中心に「シャープの森」づくりを展開しています。「シャープの森」の基本コンセプトは、「森・いきも

の・人のつながりを理解し、きずなを深め、地球環境への優しい心をはぐくむ」としています。植林や育林を通じて森林の再生に貢献するとともに、自然と触れ合う場として従業員の環境意識の一層の醸成を図っています。

栃木では、二〇〇七年三月に矢板市の塩田地区 (〇・八ha) に二〇〇本の植林を行い「シャープの森・in やいた」として活動をスタートしました。引き続き十一月には、同じ塩田地区内 (二・二ha) に一、五〇〇本の植林をしました。

■その他のSGC活動

SGC 活動として、環境保護活動の他に季節やイベントに合わせて矢板市内の各所で美化活動を展開しています。これらの活動にも多くの社友会の皆さんに参加いただきました。

〔総務部渡辺 (記)〕



桜の名所 美化活動



シャープの森 in やいた 下草刈り活動

■SGC 活動 2007 年度年間スケジュール (主な活動)

実施月	活動名称	実施日	主幹部門	活動内容
6月	シャープの森 in やいた 下草刈り/清掃活動	23日	総務部 労組	・3月に植林をした0.8haの下草刈りを実施。 ・現地周辺の美化活動
7月	夕暮れロード クリーンUP やいた	20日	総務部 労組	・矢板駅周辺のゴミ拾い ・事業所周辺(4号線/中央道路)の清掃活動
9月	シャープの森 in やいた 下草刈り/清掃活動	15日	総務部 労組	・6月に引き続き2回目の下草刈りを実施。 ・現地周辺の美化活動
11月	運動公園美化活動	10日	総務部	翌日のたかはらマラソン大会に備え発着点となるのぐらウド及び周辺を清掃する。
	シャープの森 in やいた 里山ゾーンの植林	17日	総務部 労組	里山ゾーンの(1.2ha)に植林を実施。当日は、1,500本を植林。
08年1月	矢板駅東口周辺清掃	12日	総務部	矢板駅東口を中心に清掃活動 (4班体制にて実施予定)
2月	国道4号線の美化活動	16日	総務部	4号線、事業所と中交差点間の清掃活動
3月	桜の名所美化活動	15日	総務部 労組	近隣地域の桜の名所にて美化活動を実施。(矢板市、大田原市、那須塩原市、さくら市、塩谷町)



Mebius Club



パソコン同好

会員募集



入会案内：年会費 2,000円 毎年4月集金
 新規入会者、初年度に限り 1,000円 入会金は不要
 定例会：毎月第1火曜日 午前10時～12時まで(社友会室)
 講習会：月2回～3回、午前9時30分～12時まで(社友会室)
 テーマ：定例会で会員の要望に沿って講習内容を決め技量に応じマンツーマンの講習を織り交ぜ実施しています。

入会申し込み、問い合わせは 事務局 山路規生まで
 電話0287-37-0125 メール yamajinorio@herb.ocn.ne.jp

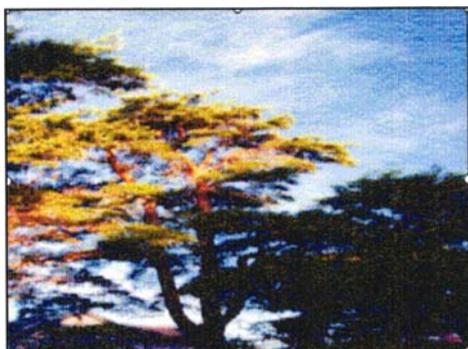
●活動内容の一部紹介



HP講習会風景

忘年会・記念写真

●勉強の成果作品を紹介



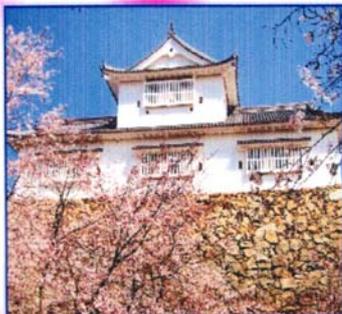
2008年1月							2008年2月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5							1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29		

カレンダー宮下さんの作品

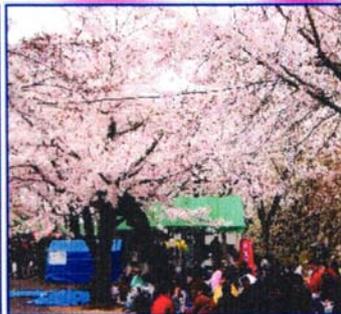
津山公園の桜

4月6日に何年振りかにかが故郷の、桜を見ることが出来ました。津山城跡6段の石段にメイシノ桜が3,000本以上が咲き乱れています。今年は昨年完成した備中櫓(ヤグラ)の記念行事もあり、桜の名所100選にも入っていて他府県の観光バスも多数来ていました。

写真をクリックすると拡大します



備中櫓



宴会たげわ

HP作成 安東さんの作品



カメラクラブ

■紅葉風景撮影会を実施

恒例の紅葉撮影会を、さる11月14日に実施しました。
茨城の「花園溪谷」周辺から「江滝田の滝」を巡り、美しい秋景色の撮影を楽しみました。小春日和の快適な撮影旅行でした。



「花園神社の紅葉」



「江滝田の滝」

■『矢板の四季』観光写真コンテストに入賞！

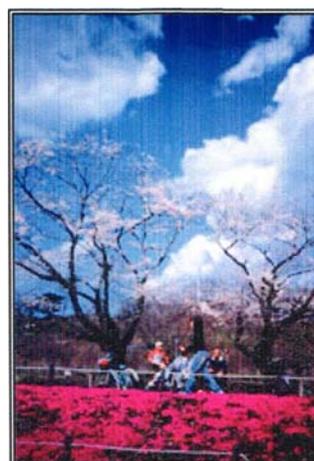
第26回コンテストに当クラブからも応募し、3名が入賞しました。入賞作品は11月3～4日に開催された「矢板の工業と物産展」会場に展示されました。



入選「涼滝」志賀 実



佳作「田んぼアート玉田」田代宏明



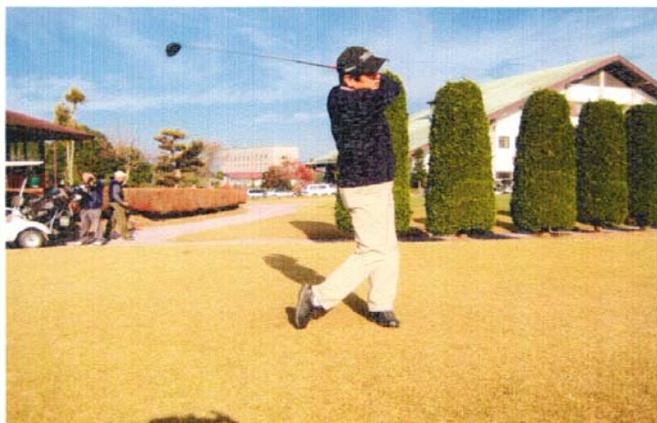
佳作「公園の春」只友将弘

新入会員大歓迎！ ・あなたも写真趣味仲間と一緒に、撮影を楽しんだり、撮影技術を向上を目指しませんか。デジタルカメラや初心者も歓迎します。

お問い合わせ： 幹事 只友将弘 電話：090-3248-7309

ゴルフ同好会

ゴルフクラブは会員の親睦と健康増進の為に発足したことは既にご紹介していますが、更にゴルフ技術の上達に少しでも貢献できればと思っています。年にコンペが3月から11月までに5回、研修会ゴルフが4月より10月まで4回、計9回開催しています。これらの開催に当たっては出来る限り料金が安く、場所は矢板を中心に近く、更に質の良いゴルフ場、即ち安、近、良の三つの要素を入れて選んでいます。これからゴルフを始めたい方も含めて更に皆様のご参加を期待しています。



ティーグラウンド



グリーン上



パーティ席で

最近のゴルフコンペは11月26日(月)那須野ヶ原カントリークラブで快晴のもと開催され、1日を和気諾々と楽しく過ごしました。

成績は優勝 岡本純一、2位 城本 昭
3位 上野嘉久、ベスト 辻中親三の各氏が受賞されました。

次回は3月に開催しますので奮ってご参加下さい。

問い合わせ：幹事 大橋 堅固 TEL/FAX 028-682-0753

メール khtm23@ybb.ne.jp

歩こう会

●活動状況

- 第49回 筑波山 4月8日(日)
- 第50回 横根高原・井戸湿原 5月13日(日) 参加人員23名



象ノ鼻展望台にて

参加人員19名 写真省略

- 第51回 会津磐梯山 7月8日(日) 参加人員16名



八方台登山口にて

- 第52回 尾瀬ヶ原 9月9日(日) 参加人員23名



鳩待峠にて

会員有志による小パーティートレッキング(サブ活動)

- 足尾の袈裟丸山(ケサマルヤマ) 6月24日(日) 歩行約6時間



袈裟丸山山頂にて

- 会津駒ヶ岳 8月11日(上) 歩行約8時間半



会津駒ヶ岳山頂にて

- 那須三本槍岳・朝日岳 10月7日(日) 歩行約6時間半



三本槍岳山頂にて

●歩こう会の案内

- ・個人では行けない栃木県内外の山、溪谷、湿原等、の日帰りトレッキング。(軽登山又はハイキング)
- ・コースの難易度は初心者向き、一般向きを交えて実施。歩行距離6~8Km、3~4時間程度。
- ・トレッキングの後、時間があれば温泉に入り疲れを癒し、心身のリフレッシュを図る。

●平成19年度 スケジュール

No	実施月日	行先	
第53回	H19年11月11日(日)	妙義山	群馬県
第54回	H20年1月20日(日)	笠間稲荷神社参拝と懇親会	茨城県
第55回	" 3月9日(日)	大坊山	足利

基本的には隔月毎に、年間6~7回ば兆施してい

●会員の募集

- ・年会費 年間2,000円(10月以降の途中入会は1,000円)但し 家族会員は不要。
- ・入会申込 気軽に相談下さい、随時受け付けています。年度替わりは4月です。
- ・参加申込 例会の詳細は、その都度会員宛にハガキにて連絡しています。

問い合わせは 中村 茂 Tel 0287-44-0097 Eメール snkmr36@ybb.ne.jp

新規入会者紹介



会員番号 三七七六
河越 泰博
昭和二十二年四月二十六日生

私は二〇〇七年四月から
栃木支部にお世話になっ
ています。栃木工場

を離れての勤務が多かった関係で、皆さんには大変
ご無沙汰を致しておりますが、この度の定年退職
を契機に、矢板の地で生活しております。宜しく
お願いを致します。いろいろな活動に参画をしたい
と、考えております。是非お声を掛けてください。



会員番号 三八四二
榊 毅
昭和二十二年四月二十六日生

入社以来ずっとテレビの

輸出関連の仕事をしてきましたが、最後の4年間はS
MCAのものテレビ工場でソーラーの生産事業立上
げに従事しました。定年を機に好きな木工分
野でクリエイティブなセカンドライフを送りたいと思
っております。



会員番号 三八六二
永吉 四郎
昭和二十二年七月九日生

これからは好きな温泉巡りとゴルフ上達へ時間を費や
したいと思致します。今後ともよろしくお願ひ申し上げ



ます。

会員番号 三八六三
加藤 直幸
昭和二十二年七月二十四日生

退職後の生活をいかに楽
しいものにするか、五年

前から準備を始めたのが、ガーデニングでした。今で
は百種類二百本近いバラを中心にローズガーデンを制
作中です。今後はイギリスやニュージーランドのガー
デンを見学し、さらに洗練されたローズガーデンにし
ていきたいと考えています。
ガーデニングの雑誌BISES 二〇〇七年六月号に紹
介されました。



会員番号 三八六八
後藤 恒夫
昭和二十二年六月二十六日生

退職後四カ月が過ぎ毎日
のんびりと過しております。
今までは朝、目が覚め
たら出勤前はばたばたと忙しい日々でしたが、今は好
きな時間に起き公園を散歩したり、小さな庭に花を植
えたり(パンジー百五十株、チュウリップ百株)して
楽しんでいきます。



会員番号 三九二〇
佐藤 義久
昭和二十二年八月三十一日生

平成十九年八月三十一日を
もって退職致しました。シャ
ープで版社(営業業務)勤



会員番号 三八八四
松本 浩二
昭和二十二年八月七日生

入社以来田辺、栃木(A
V)海外(パナマ、SMC
A、SEMEX、SR

EC)と多岐にわたる業務に従事させて頂き、三十
八年十一月を皆様・諸先輩方のご指導とご鞭撻の
お陰を持ちまして、無事に勤め上げる事が出来まし
た。心から感謝申し上げます。これからは地域社会
と家庭に学びながら、心豊かに意義ある時を妻と共
に過しながら、少しでも社会にお役に立てるよう一
層の精進をして参りたいと考えています。
今後とも宜しくお願いします。

務する事ができ、今満足感と多少の誇りを胸に日々充
電中です。家内に迷惑をかけた分少々のお返しをして
いる所です。ゴルフ・温泉旅行等で楽しんでおります。
烏山出身です。宜しく御願ひ致します。



会員番号 三九八八
手島 正典
昭和二十二年二月一日生

本年二月に、四十四年勤
めたシャープ株式会社にて
無事、定年退職を迎える事
が出来ました。創業者の早川社長から町田社長まで、
数多くの方々に働く喜びと、大きな希望を頂きました。
心より感謝を申し上げますと共に、これからはシャ
ープ社友会のメンバーに入会をお願いし、地区の自治活
動に何らかの形で、役立てるよう活動を行って行き
たいと考えております。宜しくお願ひ致します。

チャリティーバザー出店

平成十九年七月二十八日にシャープブルーサーマーフエステイバルが開催され、社友会も恒例のチャリティーバザーを会員皆様から提供いただいた品々を展示即売しました。途中雷雨がありました。無事に全品完売し、当日の売上金及び会員からいただいたカンパ金と当日会場でのカンパ金を併せて七万五千円余りを今回も「矢板市福祉協議会」へ寄付いたしました。

皆様方のご支援とご協力有難うございました。

社友会本部新春年賀会衛星中継の案内

昨年より始まった本部年賀会の衛星放送でのTV中継を昨年に引き続き今年も実施します。社友会会長ほか会社役員より、直接方針や近況を聞くことができる絶好のチャ

ンスでもありません。既に案内状をお送りしてありますが、不参加と返事された方もどうぞ幹事さんに連絡してご参集下さい。

①実施日 ・平成二十年一月二十二日(火)
午前一〇時から十二時まで

(九時四十五分までに集合下さい)

②場所 ・事務棟集会所

・入門時は社友会バッチをつけて入門下さい

栃木支部新春賀詞交歓会の案内

恒例の支部賀詞交歓会を昨年に引き続き実施いたします。

①実施日 ・平成二十年一月二十七日(日)
二十八日(月)

②場所 ・大田原市ふれあいの丘
シャトー・エスポワール

③会費 ・一万円 (当日集金します)

④送迎バス ・矢板からと西那須野からの送迎
バスあります。

詳しくは既に送付済みの案内状をご覧下さい。

新規入会者紹介続き

会員番号 三九八五 貝増 弘行

昭和二十二年八月二十日生

会員番号 三九〇四 西川 良市

昭和二十二年八月十三日生

会員番号 三九一六 秋元 道雄

昭和二十二年九月九日生

会員番号 三九一九 今泉 正男

昭和二十一年八月二十八日生

会員番号 三九二九 服部 和夫

昭和二十二年九月二十二日生

(平成十九年十一月現在支部会員二五九名)

米寿・喜寿・古希 おめでとうございます

会員番号	御祝い	お名前	お祝い日
62	米寿	広尾 義治	平成19年 5月21日
394	喜寿	平山 ミチ	平成19年 9月28日
386	喜寿	中村 義雄	平成19年10月2日
1062	古希	柏原 武司	平成19年 6月3日
1069	古希	井村 俊朗	平成19年 6月24日
1079	古希	木村 喬	平成19年 7月6日
1083	古希	館脇 邦吉	平成19年 7月3日
1084	古希	木川 順一	平成19年 7月6日
1080	古希	志賀 実	平成19年 7月24日
636	古希	市村 博美	平成19年 8月23日
451	古希	田中 勇	平成19年 9月22日
1136	古希	漆原不二男	平成19年10月21日

◎「日光」第二十一号をお手元にお届けできます

ことを感謝します。編集委員各位の手腕がそれぞれのページに溢れています。多くの原稿をいただきました。有難うございます。

○ 次の第二十二号は栃木支部発足二十周年の記念号の計画です。詳細は幹事会・ホームページを

編集後記

通してお知らせすることになります。栃木工場も創設四十年を迎えることもあり、皆様の現役時代を回顧して、今だから話せる！と言うようなエピソードや、現在の人生の生き様のような話題も掲載したいと思っています。公私に互る話題を提供頂ければ誌面を一層賑わすものと、期待しています。

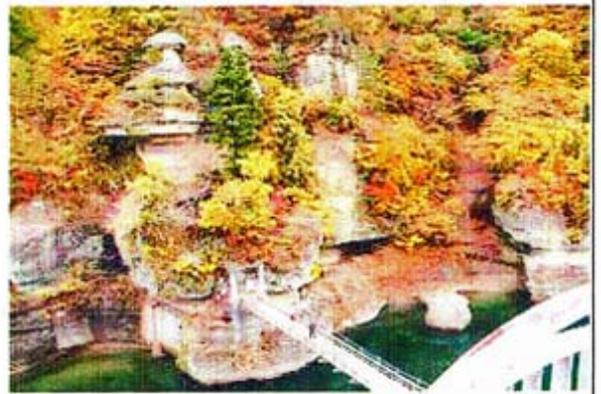
どうか奮って投稿賜ります様をお願いします。

<http://teg-syayu.web.infoseek.co.jp>

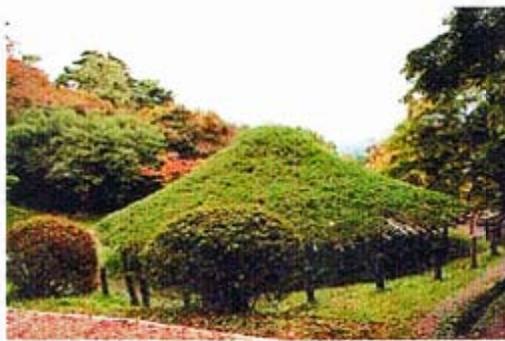


鶴ヶ城天守閣を背に

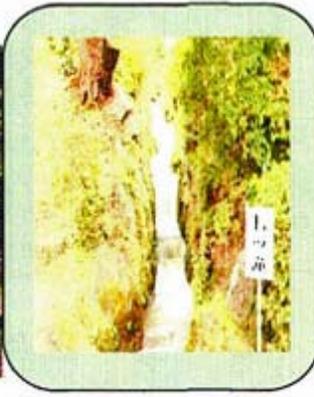
秋の懇親旅行
平成十九年十月三十日



塔のへつりの紅葉



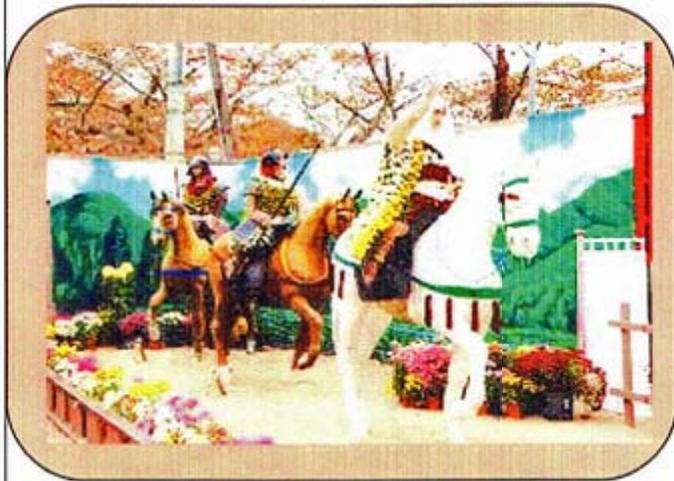
山上にヒツソリと笠松



会場内七ツ滝



ホテル向滝のマツタケご膳



武将は不詳



人形着せ替え中の舞台に見入る



五重の塔も菊化粧



見事な千輪咲きの菊



菊人形展入り口